

A グループプログラム

8:55ー 開会の辞 第60回日本薬理学会西南部会会長 和田明彦

9:00ー10:00 セッション名：免疫・炎症

座長 前山 一隆（愛媛大院・医）
甲斐 広文（熊本大院・医薬）

9:00ー9:12

1. 粘膜型マスト細胞の開口分泌における syntaxin 4 の関与

○劉爽、Agung Endro Nugroho、前山一隆（愛媛大院・医・統合生体情報学薬理）

9:12ー9:24

2. Aegle Marmelos Correa からの主要抽出物である Aegeline によるマスト細胞からのヒスタミン遊離抑制作用

○Agung Endro Nugroho¹、Sugeng Riyanto²、Mohd. Aspollah Hj. Sukari³、前山一隆¹（¹愛媛大院・医・統合生体情報学薬理、²Gadjah Mada 大・薬・製剤化学、³Putra Malaysia 大・環境科学）

9:24ー9:36

3. 炎症性サイトカインによる水チャネル aquaporin-3 遺伝子の発現抑制作用

○堀江一郎、磯濱洋一郎、久恒昭哲、香月博志（熊本大院・医薬・薬物活性）

9:36ー9:48

4. 好中球様分化細胞における TLR 遺伝子発現及び応答性の上昇

○大平裕子、首藤剛、古田貴志、島崎省吾、渡邊健司、メリーアン スイコ、甲斐広文（熊本大院・医薬・遺伝子機能応用学分野）

9:48ー10:00

5. 粘液糖蛋白質 MUC1 による TLR シグナルの負の制御

○上野恵子^{1,3}、古賀豪^{2,3}、甲斐広文¹、K. Chul Kim³（¹熊本大学大学院・医学薬学研究部・遺伝子機能応用学分野、²薬物活性学分野、³Lovelace Respiratory Research Institute, USA）

A グループプログラム

10:00～11:00 セッション名：心血管1

座長 笹栗 俊之（九州大院・医）
平野 勝也（九州大院・医）

10:00～10:12

6. 心筋トロポニン T 遺伝子突然変異による拡張型心筋症マウスノックインモデルにおけるサイロイドホルモンの影響
○王媛媛、森本幸生、笹栗俊之（九州大院・医学研究院・臨床薬理学）

10:12～10:24

7. 心筋特異的 PIP5Ka 遺伝子改変マウスの心機能特性
○喜多紗斗美¹、荒井勇二²、岩本隆宏¹（¹福岡大学 医学部 薬理学、²国立循環器病センター研究所 バイオサイエンス部）

10:24～10:36

8. ラット心筋細胞の低酸素処置によって誘導される心筋障害に対する adenovirus-mediated TNNI3K 高発現の保護作用とその機序
○頼仲方一¹、Yu-Zhen Chen²、李萍³、程曉曙³、孟憲敏⁴、丁金風⁴、光山勝慶¹（熊大・医・¹生体機能薬理、²免疫識別、³中国南昌大・医・第二附属病院循環器内科、⁴中国協和医大・分子生物研究センター）

10:36～10:48

9. 更年期ホットフラッシュに対する HMG-CoA reductase inhibitors (statin 系薬剤) の効果
○満永 大輔、池田 宗彦、富永宏治、高田 芙友子、西奥剛、山内 淳史、首藤 英樹、片岡泰文（福岡大・薬・薬学疾患管理学）

10:48～11:00

10. アスピリンは、バルーン傷害血管におけるトロンビン受容体発現亢進を抑制し、トロンビンに対する過剰収縮反応を減弱させる
○平野勝也、福永亮太、平野真弓（九州大学大学院医学研究院・附属心臓血管研究施設・分子細胞情報学部門）

A グループプログラム

11:00～12:00 セッション名：心血管2

座長 筒井 正人（産業医大・医）
野口 克彦（琉球大・医）

11:00～11:12

11. アトルバスタチンは血管における神経型一酸化窒素合成酵素の発現を Akt/NF- κ B 経路を介して亢進させる
○筒井正人¹、中田靖²、佐羽内研¹、豊平由美子¹、上野晋¹、柳原延章¹（産医大・¹薬理、²2内科）

11:12～11:24

12. 糖尿病ラットに食塩を負荷すると腸間膜動脈の弛緩反応が減弱する
○福田未音、平原康寿、片渕史織、中村祐介、本多健治、斎藤亮、高野行夫（福岡大・薬・生体機能制御）

11:24～11:36

13. フルクトース負荷インスリン抵抗性モデルラットの負荷早期における神経性血管反応性の変化
○座間味義人¹、高取真吾³、藪前奈々¹、宮下智子¹、細田美穂¹、高山房子¹、見尾光庸²、川崎博己¹（¹岡山大学大学院・医歯薬学総合研究科・臨床薬学、²就実大学・薬・薬効解析学、³日本新薬（株）創薬研究所）

11:36～11:48

14. II型糖尿病ラットの大動脈に対するシクロヘキサノン誘導体の治療効果
○和山恵美、齊藤源顕、木下ゆか子、佐藤至、岡田晋一、佐藤慶祐（鳥取大・医・医・分子薬理）

11:48～12:00

15. Methotrexate 前処置ラットにおける生体内 tetrahydrobiopterin レベルにおよぼす sepiapterin の影響
○野口克彦、浜館直史、松崎俊博、坂梨まゆ子、仲宗根淳子、坂梨又郎（琉球大・医・医・生体制御・薬理）

A グループプログラム

14:00～15:00 セッション名：心血管・腎・尿路

座長 佐藤 慶祐（鳥取大・医）
池田 正浩（宮崎大・農）

14:00～14:12

16. 同一対象者における体位変換時の自律神経系活性と体調の関連性

○上妻尚子¹、前高圭子²、樋口マキエ¹（¹九州看護福祉大学、²熊本機能病院）

14:12～14:24

17. Chediak-Higashi 症候群のラットおよびウシの血小板における collagen による凝集と放出反応の異常

○橋野里美¹、大西克幸¹、阿野仁志²、池田正浩¹、伊藤勝昭¹（宮崎大・農・¹獣医薬理、²獣医内科）

14:24～14:36

18. 腎虚血再灌流傷害における unfolded protein response 活性化の役割

○Prachasilchai Worapat¹、池田直子²、押川さやか¹、相川千恵¹、伊藤勝昭¹、工藤喬³、今泉和則⁴、池田正浩¹（¹宮崎大・農・獣医薬理、²県立宮崎病院・腎臓内科、³大阪大・精神科、⁴宮崎大・医・分子細胞生物）

14:36～14:48

19. N-hexacosanol の糖尿病性腎症に対する NOS を介した治療効果

○岡田晋一^{1,2}、齊藤源顕¹、和山恵美¹、佐藤至¹、木下ゆか子¹、神崎晋²、佐藤慶祐¹（¹鳥取大・医・分子薬理、²周産期・小児医学）

14:48～15:00

20. 膀胱における虚血-再灌流障害時の好中球エラスターゼ阻害薬の効果

○高野智晴、齊藤源顕、和山恵美、木下ゆか子、佐藤至、岡田晋一、佐藤慶祐（鳥取大・医・分子薬理）

A グループプログラム

15:00～16:00 セッション名：生理活性物質・情報伝達

座長 山本 隆一（九保福大・薬）
宮田 篤郎（鹿児島大・医歯学総合）

15:00～15:12

21. 骨代謝における調節因子としてのニューロメディン B の生理的役割の解明

○齊藤弘樹¹、池田龍二²、井上和彦¹、宮田篤郎¹（¹鹿児島大院・医歯学総合・生体情報薬理、²鹿児島大学医歯付属病院・薬剤部）

15:12～15:24

22. 骨芽細胞分化における PLZF の機能的関与

○池田龍二¹、吉田健一²、牛山美奈¹、山口辰哉³、武田泰生^{1,3}、柴山良彦¹、岩下健一³、田實裕介³、井ノ上逸朗⁴、山田勝士^{1,3}（¹鹿児島大学病院・薬剤部、²明治大・農・生命科学科・分子発生学、³鹿児島大院・医歯学総合・薬物動態制御学、⁴東海大・医・基礎医学系・分子生命学）

15:24～15:36

23. Differentiation-inducing factor-3 によるサイクリン D1 リン酸化機序の解明

○高橋富美、笹栗俊之（九州大学院・医学研究院・臨床薬理学分野）

15:36～15:48

24. Glycogen synthase kinase-3 β 活性変動による protein kinase B/Akt の発現調節

○根本隆行、金井祐、柳田俊彦、佐藤伸矢、丸田豊明、吉川教恵、小林英幸、和田明彦（宮崎大・医・薬理）

15:48～16:00

25. 摘出ブタ瞳孔括約筋の張力発生におよぼす Rho-kinase の役割

○岡野真弓¹、内川義和¹、田中直子²、武藤純平³、大倉正道⁴、比佐博彰³、山本隆一²（九州保福大・¹保健科学・視機能療法、²薬・薬理第一、³薬・薬理第二、⁴山形大・医・薬理）

A グループプログラム

16:00～17:00 セッション名：細胞1

座長 山本 健二（九州大院・歯）
丹羽 正美（長崎大院・医歯学総合）

16:00～16:12

26. 血管新生抑制と生体防御能増強によるカテプシン E の腫瘍抑制

○進正史¹、門脇知子¹、川久保友世¹、瀧井良祐¹、筑波隆幸²、山本健二¹（¹九州大院・歯・口腔常態制御・口腔機能分子科学、²長崎大院・医歯薬総合・口腔病態薬理）

16:12～16:24

27. Cathepsin E の併用による抗腫瘍相乗効果の検討

○安河内篤¹、川久保友世¹、中村誠司²、山本健二¹（九州大院・歯・¹口腔機能分子、²顎顔面腫瘍制御）

16:24～16:36

28. 膜結合型ムチン MUC1 は特異的抗体の結合によって細胞内局在が変化する

○川崎美鶴、久恒昭哲、磯濱洋一郎、香月博志（熊本大院・医薬・薬物活性）

16:36～16:48

29. 転写因子 MEF の発現および機能制御における p53 の役割

○小松賢生、田浦学、メリーアン スイコ、江隈綾香、小宗武文、首藤剛、甲斐広文（熊本大院・医薬・遺伝子機能応用）

16:48～17:00

30. 三次元二重膜構造モデルを用いた新規癌悪性度判定評価法の開発

○平川稚麻¹、田中邦彦¹、田川泰^{2,3}、丹羽正美^{1,3}（長崎大院・医歯薬・¹薬理1、²保健学科、³ファーマコセル（株））

A グループプログラム

17:00～18:12 セッション名：細胞2

座長 大石 了三（九州大院・薬）
仁木 一郎（大分大・医）

17:00～17:12

31. チミジンホスホリラーゼによる interleukin-8 (IL-8) の発現亢進機構

○田畑祥¹、山本雅達²、池田龍二³、車暁芳²、岩下健一¹、武田泰生^{1,3}、古川龍彦²、向田直史⁴、秋山伸一²、山田勝士^{1,3}（鹿児島大院・医歯学総合・¹薬物動態制御、²分子腫瘍学、³鹿児島大学病院・薬剤部、⁴金沢大学がん研究所・分子生体応答研究分野）

17:12～17:24

32. 高浸透圧ストレスによって誘導されるアポトーシスの Major Vault Protein (MVP) による抑制機構

○岩下健一¹、池田龍二²、住澤知之³、田實裕介¹、牛山美奈²、山口辰哉²、武田泰生^{1,2}、秋山伸一⁴、山田勝士^{1,2}（¹鹿児島大院・医歯学総合・薬物動態制御、²鹿児島大学病院・薬剤部、³産業医大・産業生態・環境中毒学、⁴鹿児島大院・医歯学総合・分子腫瘍）

17:24～17:36

33. アトルバスタチンによる肝細胞障害におけるメバロン酸代謝物の関与

○前田朱香¹、窪田敏夫²、矢野貴久²、江頭伸昭^{1,2}、伊藤善規³、大石了三^{1,2}（¹九州大院・薬学府医薬品情報解析、²九州大学病院・薬剤部、³岐阜大附属病院・薬剤部）

17:36～17:48

34. 異物食食による常在型マクロファージの消化管運動制御機構

○佐藤晃一¹、鳥橋茂子²、堀 正敏³、那須哲之¹、尾崎博³（¹山口大・農・獣医薬理、²名古屋大・医・保健、³東京大院・農学生命科学・獣医薬理）

17:48～18:00

35. 硫化水素産生酵素 CSE の脾 B 細胞における発現調節とその意義

○仁木一郎、金子雪子、木村俊秀（大分大・医・薬理）

18:00～18:12

36. GDP 型 Rab27a 結合タンパク質の同定と機能解析

○木村俊秀¹、岩松明彦²、仁木一郎¹（¹大分大・医・薬理、²(有)プロテイン・リサーチ・ネットワーク）

B グループプログラム

9:00～10:00 セッション名：受容体・チャネル

座長 高濱 和夫（熊本大院・医薬）
上園 保仁（長崎大院・医歯薬総合）

9:00～9:12

37. クロペラスチンは直接 GIRK チャネルを抑制するか？

○木下瑞恵、白崎哲哉、副田二三夫、高濱和夫（熊本大院・医薬・環境分子保健）

9:12～9:24

38. β 遮断性緑内障治療薬の NMDA 受容体発現卵母細胞における細胞死に対する効果と NMDA 受容体上の作用部位の検討

○上野 晋¹、永田竜朗²、稲益良紀¹、森田啓文²、豊平由美子¹、筒井正人¹、田原昭彦²、柳原延章¹（産業医大・医・¹薬理、²眼科）

9:24～9:36

39. リゾフォスファチジン酸による Nav1.7 Na⁺チャネルの細胞膜発現量増加

○丸田豊明¹、柳田俊彦¹、松尾清隆²、上園保仁²、佐藤伸矢¹、根本隆行¹、吉川教恵¹、小林英幸¹、和田明彦¹（¹宮崎大・医・薬理、²長崎大・院・医歯薬総合・内臓薬理）

9:36～9:48

40. バクロフェン持続髄注による耐性形成メカニズム：実験的バクロフェン耐性ラット脊髄の GABAB 受容体および GRK4 の発現変化

○安藤優子^{1,2}、北條美能留²、高田正史²、金出政人^{1,2}、須藤結香¹、澄川耕二²、上園保仁¹（長崎大・¹医歯薬総合研究科・内臓薬理、²長崎大・医歯・附属病院・麻酔科）

9:48～10:00

41. 高いカルシウム透過性を示す TRPV6 チャネル変異体のアジア・ヨーロッパでの優位的進化 -TRPV6 クローン発現細胞を用いての検討-

○須藤結香¹・副島美貴子²・松尾清隆¹・安藤優子¹・神田芳郎²・谷山紘太郎¹・上園保仁¹（¹長崎大・院・医歯薬総合・内臓薬理、²久留米大・医・法医学/人類遺伝学）

B グループプログラム

10:00～11:00 セッション名：中枢神経 1

座長 中西 博（九州大院・歯）
山本 秀幸（琉球大・医）

10:00～10:12

42. カテプシン B のミクログリアにおける IL-1b プロセッシングならびに分泌
における役割

○寺田佳代^{1,2}、林良憲¹、山田純¹、中西博¹（¹九大院・歯・加齢口腔、²九大院・薬・薬物動態）

10:12～10:24

43. 運動ニューロンの軸索切断に伴うニューロン死におけるカテプシン B の
役割

○馬場理師^{1,2}、山田純¹、武洲¹、中西博¹（¹九大院・歯・加齢口腔、²九大院・薬・薬物動態）

10:24～10:36

44. カテプシン D 欠損マウスにおけるコレステロール代謝異常とミエリン形
成不全

○日吉聖奈王^{1,2}、林良憲¹、中西博¹（¹九大院・歯・加齢口腔、²九大院・薬・薬物動態）

10:36～10:48

45. 糖尿病マウスにおける不安関連行動の増加における Rho/ROCK 経路の
関与

○秦庸子、吉川直紀、宮田茂雄、大澤匡弘、亀井淳三（星薬科大・薬物治療）

10:48～11:00

46. GnRH ニューロンでの CaM キナーゼ II による MAP キナーゼの活性化反応

○山本秀幸、山中理菜、前田紀子、徳誠吉、川原正博（琉球大・医・生化学、
*九州保福大・薬・薬学）

B グループプログラム

11:00～12:00 セッション名：中枢神経2

座長 岩本 隆宏（福岡大・医）
岩崎 克典（福岡大・薬）

11:00～11:12

47. β -アミロイドの2種類のフラグメントの相互作用と神経毒性

○藤野睦美、岩崎克典、渡辺拓也、永山雅健、町田和之、原口珠実、高崎浩太郎、三島健一、中島学、藤原道弘（福岡大・薬・臨床疾患薬理、臨床薬物治療）

11:12～11:24

48. ミノサイクリンの MCA 閉塞後投与は血中及びグリア細胞に発現した HMGB1 を抑制することで脳保護効果を示す

○早川和秀、三島健一、櫛川舞、入江圭一、高崎浩太郎、岩崎克典、藤原道弘（福岡大・薬・臨床疾患薬理）

11:24～11:36

49. 一過性脳虚血による若齢 Tg2576 マウスの早期記憶障害の発現

○山縣宣仁、岩崎克典、渡辺拓也、高崎浩太郎、内藤哲哉、三島健一、藤原道弘（福岡大・薬・臨床疾患薬理）

11:36～11:48

50. アデノ随伴ウイルスベクター経口ワクチンはアルツハイマー病モデルマウスに認められる A β の蓄積および認知障害を改善する

○鍋島俊隆^{1,2}、毛利彰宏^{1,2}、原英夫³、野田幸裕^{1,2,4}、溝口博之²、田平武³（¹名城大院・薬学研究・薬品作用、²名古屋大院・医学系研究・医療薬学・医学部附属病院薬剤部、³国立長寿医療センター血管性認知症研究部、⁴名城大院・薬学研究・病態解析学 I）

11:48～12:00

51. アルツハイマー病における ABCG4 脂質膜輸送体の役割

○上原吉就¹、阿部智美¹、樋口正晃²、山田達夫²、岩本隆宏¹（¹福岡大・医・薬理、²福岡大・医・神経内科）

B グループプログラム

14:00～15:00 セッション名：中枢神経3

座長 西 昭徳（久留米大・医）
香月 博志（熊本大院・医薬）

14:00～14:12

52. Phosphodiesterase による線条体リン酸化シグナルの制御：ドーパミン神経終末と medium spiny neuron の比較
○西昭徳、黒岩真帆美（久留米大・医・薬理）

14:12～14:24

53. メタンフェタミン逆耐性を消失させるドーパミン D1 受容体刺激薬反復投与：線条体ドーパミン受容体親和性への影響
○首藤隆秀、西昭徳（久留米大・医・薬理）

14:24～14:36

54. アミントランスポーターに及ぼす植物エストロゲンの作用
○豊平由美子、伊藤英明、張晗、上野晋、筒井正人、柳原延章（産業医大・医・薬理）

14:36～14:48

55. ニコチン長期処理によるノルエピネフリントランスポーターへの促進効果
○伊藤英明²、豊平由美子¹、蜂須賀研二²、柳原延章¹（産業医大・医・¹薬理、²リハビリテーション）

14:48～15:00

56. レチノイド受容体作用薬の中脳ドーパミンニューロン保護作用
○香月博志¹、栗本恵実²、久米利明²、赤池昭紀²（¹熊本大院・医薬・薬物活性、²京都大院・薬・薬品作用解析）

B グループプログラム

15:00～16:00 セッション名：中枢神経 4

座長 井上 和秀（九州大院・薬）
山田 勝士（鹿児島大院・医歯学総合）

15:00～15:12

57. ミクログリアにおける P2X4 受容体の発現および分布に対するラフトマ
イクロドメインの関与

○岡綾香、津田誠、齊藤秀俊、井上和秀（九州大院・薬・薬理）

15:12～15:24

58. 神経因性疼痛動物モデルにおける脊髄内ミクログリア増殖様式の解明

○北野順子、津田誠、辻川智子、井上和秀（九州大院・薬・薬理）

15:24～15:36

59. ラット海馬神経細胞におけるグルココルチコイドによる MAP2 を介する
抑制性樹状突起伸展制御機構

○溝田香緒里、植田弘師（長崎大院・医歯薬学総合・分子薬理）

15:36～15:48

60. 中枢神経系における contactin associated protein (Caspr) 2 と
carboxypeptidase E の相互作用解析

○大磯茂^{1,2}、二川俊隆¹、口岩聡³、西田健太郎¹、池田龍二²、武田泰生^{1,2}、山
田勝士^{1,2}（¹鹿児島大院・医歯学総合・薬物動態制御、²鹿児島大学病院薬剤
部、³鹿児島大院・医歯学総合・神経解剖）

15:48～16:00

61. Quantitative analysis of toxin extracts from various tissues
of wild and cultured puffer fish by electrophysiological method

○佐々木恵太、高山靖規、伊東祐之、赤池紀生（熊本保健科学大・保健・衛
生技術・リハビリテーション）

B グループプログラム

16:00～17:00 セッション名：中枢神経 5

座長 片岡 泰文（福岡大・薬）
植田 弘師（長崎大院・医歯薬総合）

16:00～16:12

62. アドレノメデュリンによる脳血管周皮細胞ペリサイトの弛緩作用-脳微細循環調節機構の解明を目指して-

○原田枝理子、高田芙友子、湧川朝也、西奥剛、角典子、児玉耕太、山内淳史、中川慎介、首藤英樹、丹羽正美、片岡泰文（¹福岡大・薬・薬学疾患管理、²長崎大院・医歯薬総合・薬理1）

16:12～16:24

63. 高次脳機能における心臓型脂肪酸結合蛋白質（H-FABP）の役割

○本橋 慧樹¹、橋本茜¹、塩田倫史¹、近藤尚武²、大和田祐二³、福永浩司¹（¹東北大・薬・薬理、²東北大・医・細胞組織、³山口大・医・器官解剖）

16:24～16:36

64. 神経ネクロシス保護分子プロサイモシン a

○藤田亮介、植田弘師（長崎大院・医歯薬学総合・分子薬理）

16:36～16:48

65. マウス一過性脳虚血再灌流モデルにおけるプロサイモシン a の脳保護効果

○高濱和弘、藤田亮介、植田弘師（長崎大院・医歯薬学総合・分子薬理）

16:48～17:00

66. 虚血脳に対するプロサイモシン a のネクロシス保護機構

○早田知永、高濱和弘、藤田亮介、植田弘師（長崎大院・医歯薬学総合・分子薬理）

B グループプログラム

17:00～18:12 セッション名：中枢・末梢神経

座長 柳原 延章（産業医大・医）
喜多 大三（九州栄福大院・食物栄養）

17:00～17:12

67. 培養モノアミン神経系に及ぼすビスフェノールAの毒性に関する検討

○竹島美香¹、田中弓子¹、宮崎育子²、浅沼幹人²、喜多大三¹（¹九州栄養福祉大院・食物栄養・薬理、²岡山大院・医歯薬総合・神経情報）

17:12～17:24

68. 低頻度磁気刺激によるてんかんモデル EL マウスへの影響

○由比友顕¹、笛田由紀子²、辻貞俊¹（¹産業医大・医・神経内科、²産業保健・第一環境管理）

17:24～17:36

69. 末梢性アセチルコリン神経による内在性鎮痛機構

○松本みさき、謝維嬌、井上誠、植田弘師（長崎大院・医歯薬学総合・分子薬理）

17:36～17:48

70. 副腎髄質細胞におけるノルハルマンのカテコールアミン生合成・分泌に及ぼす影響

○坂巻路可¹、豊平由美子²、仁井裕章²、上野晋²、筒井正人²、外山健二¹、柳原延章²（¹西南女大・保健福祉・栄養、²産業医大・医・薬理）

17:48～18:00

71. 副腎髄質細胞におけるカテコールアミン生合成・分泌に及ぼすシンバスタチンの影響

○松田たえ子¹、豊平由美子²、上野晋²、筒井正人²、柳原延章²（¹八幡厚生病院・薬剤、²産業医大・医・薬理）

18:00～18:12

72. 植物性エストロゲン Resveratrol によるカテコールアミン分泌及び生合成に対する影響

○篠原優子、豊平由美子、上野晋、劉民慧、筒井正人、柳原延章（産業医大・医・薬理）